

新型コロナウイルスの感染防止のため、 健診を受けていただく方にご理解ご協力をお願いします

新型コロナウイルスの感染防止のため、当分の間、次の方は、当日の受診をお断りいたしますので、体調が回復してから受診するようにお願いします。症状が続く場合は、保健所等にご相談ください。

1. いわゆる風邪症状が持続している方
 2. 発熱（平熱より高い体温など含む）、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、味覚障害、臭覚障害などの症状のある方
 3. 過去2週間以内に発熱（平熱より高い体温、或いは37.5℃以上を目安）のあった方
 4. 2週間以内に諸外国への渡航歴がある方、及びそれらの方と家庭や職場内等で接触歴がある方
 5. 2週間以内に新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者（同居者・職場内での発熱含む）との接触歴がある方
 6. 新型コロナウイルスの患者に濃厚接触の可能性があり、待機期間内の方
- ◇ 上記症状が続く場合、あるいは基礎疾患（持病）の症状に変化がある方は医療機関にご相談ください
- ◇ 新型コロナウイルスに感染すると悪化しやすい高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方は、受診延期が必要な場合がありますので、主治医とご相談ください。

【受診に際して】

1. 各自マスクをご用意いただき、健診中はマスクの着用をしていただきます。
2. アルコール消毒液を用意していますので、入館時と退館時のほか健診中も適宜手指消毒をお願いします。アルコールを使えない方は、界面活性剤配合のハンドソープ等により手洗いをお願いします。
3. 予約時間をお守りください。密集・密接の防止にご協力をお願いします。
4. 受付の前に、非接触型体温計での体温測定等をお願いすることがございます。ご理解ご協力をお願いします。
5. 「肺機能検査」は、ウイルス感染防止対策を講じて実施していますが、新型コロナウイルス感染の現在の流行状況を勘案しますと、感染対策効果が不十分となる可能性が否定できません。感染拡大防止のため検査を当面の間、休止させていただきます。ご理解のほどお願い申し上げます。なお、詳細について、裏面「呼吸機能検査の実施」をご参照ください。

新型コロナウイルス感染症流行期における呼吸機能検査の実施について

呼吸機能検査（肺機能検査）については、深呼吸や最大努力での強制呼気などの手技を行うため、周囲への汚染飛沫・エアロゾルの拡散を生じる可能性があり、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症（Coronavirus Disease 2019、以下 COVID-19）の感染リスクが懸念されます。

日本呼吸器学会の提言「新型コロナウイルス感染症流行期における呼吸機能検査の実施について」を踏まえ、次のような対応を行っています。

- 1) COVID-19 感染症が疑われる臨床所見や接触歴を有する場合は、呼吸機能検査を中止
- 2) 日常的な清掃と消毒
- 3) 検査時の感染予防
 - (1) 基準に合致したディスポーザブルフィルターの使用
 - (2) 検査室の換気を十分に行う。（空気清浄機の常時稼働）

なお、肺機能検査用フィルターは

- 1) 細菌濾過率（bacterial filtration efficiency; BFE）99.99%以上
- 2) ウイルス濾過率（Viral filtration efficiency; VFE）99.99%以上

ただし、BFE は黄色ブドウ球菌、VFE はバクテリオファージ ϕ X174 をエアロゾル化して測定した ASTM（America Society for Testing and Materials：米国試験材料協会）規格であり実際に新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対しての捕集性能が保障されている訳ではありません。

なお、検査が必要な方は受付時にお申し出下さい。

上記の感染対策を十分踏まえて、対応させていただきます。